

西目屋村・・・葉嚇滿族鎮（中華人民共和國、吉林省梨樹県）

Yehe Manchurian Community, Jilin, People's Republic of China

1 提携年月日 昭和60年4月29日（友好協定調印の日）

2 姉妹都市の概況

吉林省は、中国東北の中部、松花江の上流流域に位置し、北は黒竜江省、西は内蒙古自治区、南西は遼寧省、東はロシア、南は北朝鮮と接している。吉林省の省政府長春市の南に位置する葉嚇滿族鎮は、面積約260k㎡で本村の面積246.7k㎡とほぼ同じである。人口は約3万人。

中国の豊かな地方の例えである「6山、1水、3分田」と言われ、果樹園、ダム、鹿の養殖場があり、水稲も盛んな地域である。また、葉嚇史話では、「風景が秀麗で歴史の悠久な葉嚇」と称される、「遠く明朝の時代に満族の先人たちが住んでいた村（葉嚇という）」である。

3 姉妹・友好提携までの経緯

昭和56年8月、村長が日中農交訪中団の一員として中国を訪問した際、吉林省農学会から農業指導者として招かれていた元青森県農業試験場の田中稔先生出合い、同氏を通じ農業研修生の受け入れを相談される。翌年4月、村長及び村議会が吉林省を訪問し、5月に農業研修生2名を受け入れ、7ヶ月間、りんご、水田を主として研修させる。その後、昭和58年9月に吉林省が来村し、正式な友好協定締結の申し入れがなされ、昭和59年7月には、吉林省農学会から孤家子人民公社と葉嚇滿族郷（現在は葉嚇滿族鎮）を推薦する旨の親書が届いた。同年8月、村長、議長、農業委員長、教育委員長が本村代表として訪中し、葉嚇滿族郷を選び協定書に署名した。

昭和60年4月29日、議定書調印のため葉嚇滿族郷長李清田氏を団長に一行4名が来村し、友好協定を調印した。

4 交流の現状

葉嚇滿族郷長を団長とする一行4名が友好協定調印のために来村した際、村内小中学校、保育所、施設を紹介した。

その後平成2年3月までの間、児童の図画習字作品の交換、本村商工会青年部員8名による葉嚇滿族郷の訪問、葉嚇滿族郷長一行5名の来村、葉嚇滿族郷副郷長と顧問の来村と互いに交流した。

平成2年3月から11月までは、葉嚇滿族郷から農業研修生2人を受け入れ、りんごと水田を研修させたが、これ以来、交流がお互い自然に遠くなり、現在は交流が休止している。

5 交流の主な動き

昭和57年 4月 村長、村議会が吉林省を訪問

5月 農業研修生の受け入れ（2名、11月まで）

58年 9月 吉林省の農学会姜殿文副理事長一行5名が来村

59年 7月 吉林省農学会から孤家子人民公社と葉嚇滿族郷を推薦する旨の親書が届く

8月 村長、議長、農業委員長、教育委員長が本村代表として訪中、9月1日葉嚇

満族郷（現在葉嚇満族鎮）を選び協定書に署名

- | | | |
|------|----|--------------------------------|
| 60年 | 4月 | 葉嚇満族郷長李清田氏一行4名来村、葉嚇満族郷と友好協定を調印 |
| 61年 | 1月 | 児童の版画、習字作品の交換 |
| | 3月 | 本村商工会青年部員8名が葉嚇満族郷を訪問 |
| 62年 | 9月 | 葉嚇満族郷長一行5名来村 |
| 63年 | 8月 | 葉嚇満族郷副郷長と顧問が来村 |
| 平成2年 | 3月 | 農業研修生の受入れ（2名、11月まで） |